

[様式14]

(対象事業：ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業)

事業名：寺子屋体験

(企画展「学びの発見」関連行事)

事業者名：広島県立歴史博物館

連携事業館名：団体見学に来館する小学校など

住所：広島県福山市西町2-4-1

TEL：084-931-2513

FAX：084-931-2514

HPアドレス：<http://www.manabi.pref.hiroshima.lg/rekishih/>



①施設概要

広島県福山市の福山城公園内の文化ゾーンに位置し、ひろく瀬戸内の歴史資料を収集保管し、調査研究を進め、その成果を展示するとともに、講演会、体験教室などを行って郷土の歴史・文化への理解や愛着を深めることによって、よりよい地域社会の創造をめざしています。

②事業の意図目的

江戸時代の広島県内に存在した私塾や寺子屋を紹介し、そこに学ぶ人々の姿と学びの意味を問う展示に関連して、開催期間中に来館者に実物大に再現した寺子屋を体感し、学ぶ意味を考えてもらう。特に、小中高校生については、団体見学時や当館行事の体験教室で、寺子屋の授業を体験する。

③事業概要

展示室外に江戸時代の寺子屋の実物大再現を展示し、企画展・常設展観覧者に限らず、博物館の全ての来館者が、寺子屋の雰囲気と仕組みを楽しめるようにした。そのための解説文を設置し、寺子屋体験のためのワークシートを作成し配布した。

特に、当該期間に団体見学を行う小学校を対象として、寺子屋の授業を体験する体験学習を実施した。

寺子屋の手習い（江戸時代の手紙の書き方）体験を、展示会期中にこども博物館教室の行事として、参加者を募集し実施した。

④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物 テキスト ワークシート その他（ポスター・チラシ）
作成した報告書等
ビデオ（
冊子（企画展「学びの発見」関連行事 寺子屋体験 報告書）
その他（

⑤参加者状況

参加者人数 延べ 4,711 人

内 訳 一般見学者4,103人、小学校団体見学601人、こども博物館教室参加者7人

(1) 事業の実施状況について

①寺子屋再現の展示

研修室に寺子屋を実物大で再現。自由に座敷に上がり、手習い帳に字も書けるようにし、企画展の展示内容の理解を助ける効果があった。。また、無料スペースとして、すべての来館者が見学できるようにした。



②小学生団体見学の寺子屋体験

期間内に団体見学を行った小学校に対して、寺子屋再現で寺子屋の授業風に展示の事前説明を行い、寺子屋についても説明しこどもたちに興味を持たせる効果があった。

10月12日	呉市立宮原小学校6年	参加者49名
10月19日	尾道市立因北小学校6年	参加者62名
10月19日	三原市立船木小学校5・6年	参加者44名
10月26日	三原市立小泉小学校5・6年	参加者42名
10月26日	三原市立神田小学校3年	参加者30名
10月26日	神石高原町立高蓋小学校3・4年	参加者23名
10月26日	三次市立川西小学校5・6年	参加者26名
10月30日	世羅町立西大田小学校4・5・6年	参加者38名
11月2日	竹原市立忠海西小学校6年	参加者28名
11月2日	庄原市立西城小学校5・6年	参加者46名
11月2日	府中市立旭小学校6年	参加者57名
11月13日	福山市立桜丘小学校5年	参加者46名
11月18日	福山市立東村小学校PTC	参加者30名
11月20日	尾道市立浦崎小学校6年	参加者30名
11月22日	庄原市立西城小学校5年	参加者50名

計601名



③こども博物館教室 「体験！ 寺子屋体験」 10月20日（土）実施

寺子屋の復元で、御手本を手習することで読み書きの能力を身につける大切さを学ぶ。学校団体見学より深い内容での体験ができ、参加者の関心を高めることができた。

参加者 7 名



（2）地域との連携について

福山市内の小・中・高等学校を職員が訪問し、展示会の開催及び寺子屋の再現と体験ができることを広報した。

（3）成果物について

①読本「草戸千軒町遺跡」

当館の常設展示で実物大復原をしている草戸千軒町遺跡の歴史について、江戸時

代の文献を参考にして読本風に作成したテキストを作成。

②こども博物館教室 「体験！ 寺子屋体験」テキスト

寺子屋に関するマメ知識、手習い・素読・和算の方法を解説したテキストを作成。

③ポスター・チラシ

(4) 参加者の反応

①寺子屋再現（入館者アンケートより）

回答数 186

とても満足 49 満足 106 どちらともいえない 18

不満だ 3 とても不満だ 0 無回答 10

②小学校団体見学（見学校アンケートより）

回答数 9

内容 おもしろい 9 どちらともいえない 0 つまらない 0

説明文 わかりやすい 7 どちらともいえない 2 わかりにくい 0

満足度は とても満足した 3 満足した 6 どちらともいえない 0

不満だ 0 とても不満だ 0

③こども博物館教室（参加者アンケート）

回答数 7

とても満足 2 満足 5 どちらともいえない 0 不満だ 0 とても不満だ 0

(5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

資料展示に偏りがちな企画展に体験的な展示を導入することで、行事や団体見学にも応用し、観覧者の展示内容の理解・関心を深めることができた。

(6) 新聞記事等
○新聞記事

寺子屋、私塾の教材などに見入る入館者

(安河内誠)

入館料は一
般七百円、高
校・大学生五
百二十円、小
中学生三百五
十円。問い合
わせは同館
(084-9
31-251
3)。

江戸後期の教育紹介

福山・県立歴史博物館

「学びの発見」展で120点

福山市西町の県立歴史博物館で、江戸後期を中心とした寺子屋や私塾、藩から認められた郷校の教育を紹介する企画展「学びの発見」が開かれ、入館者の興味を引いている。二十五日まで。

教育は当時、経済活動や生活に必須の読み、書き、そろばんの能力を養った。

現在の北広島町・壬生八幡神社にあった寺子屋清高堂で手紙の写本として使われた「消息往来」をはじめ、「女詞消息往来」、「農家益御手本」といった教材など約百二十点を紹介。力強く書かれた子どもの習字もあり、指導、学習ぶりが見て取れる。

一角には、同市神辺地区出身の漢学者菅茶山(一七三八―一八二七年)が同所に開いた私塾廉塾で使用する書物も展示。夫婦で訪れた京都市、主婦林寛美子さん(六三)は「当時の子どもの姿が思い浮かぶよう。学ぶことの大切さは変わらないですわね」と話していた。

山陽新聞(備後版)平成19年11月8日 朝刊 20面

同様の新聞記事 中国新聞(備後版)平成19年10月13日 朝刊 26面